

国際コミュニケーション学科



東アジア言語領域

専任講師 王張璋

専門分野

異文化経営学
観光学

学位・資格

修士（文学）

研究者情報
(Research Map)

専門分野と社会との関わり

異文化の魅力に惹かれ日本にきた。留学6年、その後自動車業界に10年、中国の水族館に5年勤務し、2021年から教員になった。振り返れば人生の半分は中国、半分は日本で生きてきた。そのため、日中間における価値観の違いや異文化理解の難しさを実感し、これまで培ってきた知識と実務経験を持って、異文化経営における文化的壁、人材育成などの課題に取り組んでいる。

時代と共に著しく日本社会が変化してきている。“タイパ”や“コスパ”などの新しい特質を持った若い世代に、適合した知識の移転方法や、人材育成の方法を模索している。自身の経験と知識を最大に活かし、実践に特化した「問題解決」を教育に取り入れ、多様な人材輩出に貢献したいと考えている。



最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

水族館での実践活動を通じて

私の研究フィールドである水族館は「種の保存」、「教育・環境教育」、「調査・研究」、「レクリエーション」といった4つの社会的役割をもっている。私たちが水族館に行って癒されたり、いろんな生物に触れ合ったりすることは、ほんの一部の役割に過ぎず、水族館は実際もっと高い社会貢献と持続的な発展が求められている。そのため、水族館は経営と研究の両立、動物保護とショーのギャップ、生物の命を扱った研究活動など、さまざまな課題を抱えている。

私の教育活動の一つとして、一水族館を楽しむ消費者ではなく、学生と一緒に調査したり、トレーナーと一緒に働いてみたりなどの実践活動を通じて、水族館の課題解決を試みる。

岐阜市立女子短期大学
国際文化学科
学外研修2022

授業紹介／ゼミ生による教員紹介

王ゼミについて

私たちのゼミでは、地域が抱える課題について、自分たちでテーマを決めて調査し、解決方法を考えます。問題解決の基礎を学びながら、ネットワーク大学コンソーシアムぎふの提案事業にも参加し、実践活動をしています。今年度は岐阜市に住む外国人における日本語教育問題に取り組んでおり、行政機関・地域住民・日本語教育機関・外国人を対象に調査し、12月に発表する予定です。私たちはこのゼミ活動を通して、問題に対する考え方を身につけることができた実感しています。

和歌山へのフィールドワークでは、那智の滝や生き物とのふれあいを通じて観光資源を体感しました。先生が大きなおみくじを引く場面があり、学びと楽しさの両方を兼ね備えたゼミです。

